

朽木保育園

この会場では、園の周辺と園のすぐ近くにある杉林をフィールドにしました。杉林の中は、倒れた木や落ち葉でいっぱいでした。杉林の中のさまざまな自然物を活かしたプログラムができました。

「さわって において なんだろう?!」のプログラム

中に何が入っているか見えない「ヒミツの箱」を使って、箱の中の自然物と同じものを杉林の中で探します。硬さ、柔らかさ、ツルツル・ザラザラなどの感触、特徴のあるにおいなどから、自然物には多様な種類があることに気づくプログラムです。



箱の中は見てはだめですよ。さわるだけ。

ツルツルしてるかな?



牛乳パックで作った「ヒミツの箱」は子どもの手のサイズにぴったり。中が見えなくてちょうどよい。



この木はザラザラしてるね。

「森の中でみつけた!」のプログラム

杉林の中では、足元は枯れ草や朽ち葉や倒れた木で被われています。その中でかくれんぼや電車ごっこをして遊ぶことにより、足元の感触や音、土のおいに気づくとともに、杉林（自然の中）は楽しい場所だということを感じるプログラムができました。



かくれんぼ「キツネと小鳥」
(キツネ=オニ、小鳥=隠れる)
キツネ役が数を数えている間に小鳥役は隠れる

どんな音がする?

目を閉じて電車ごっこ

カサカサ

小鳥の気持ちになって隠れ場所を探そう。



パキパキ

宝島の冒険みたいや!

「プレゼントを探しに行こう」のプログラム

「うさこちゃん」というキャラクターを設定し、うさこちゃんから子どもたちにお誕生会の手紙が届くという導入にしました。杉林の中でうさこちゃんの誕生日のプレゼントを探すことで、さまざまな自然物に触れることを楽しむプログラムができました。



杉の実を
いっぱい
見つけたよ

プレゼント探し



うさこちゃんのお誕生会



この橋を渡って
うさこちゃんに
会いに行こう！



森の中にこんな
ゴミがあったん
だよ。森の動物
や虫たちは困っ
ているの。

うさこちゃんは自然と人間が仲良く暮らすためのメッセージを子どもたちに伝える

参加された先生方の

声

こんなに新鮮で生き生きした子どもの動きがある保育は今までになかった。

「キツネと小鳥のかくれんぼ」では、どのように隠れたら見つかりにくいのか、子どもたちは工夫し、考えて遊んでいた。子どもの感性はすごいと感じた。子どもたちが本来持っている力を伸ばすことにつながったと思う。

朽木保育園では春にヨモギだんごを作る体験をしているので、ヒミツの箱の中のヨモギがすぐにわかった。園での行事や活動を単発に終わらせるのではなく次の活動につないでいくことが大切だと感じた。

子どもたちは、うさこちゃんの話から自発的に聞こうとしといる様子が見えた。「うさこちゃん」というキャラクターの有効性を実感した。

プレゼントというと“きれいなもの”（人工物）というイメージがあったが、自然の中にある物でプレゼントを探すということで、子どもたちは一生懸命考えて探していたように思う。